

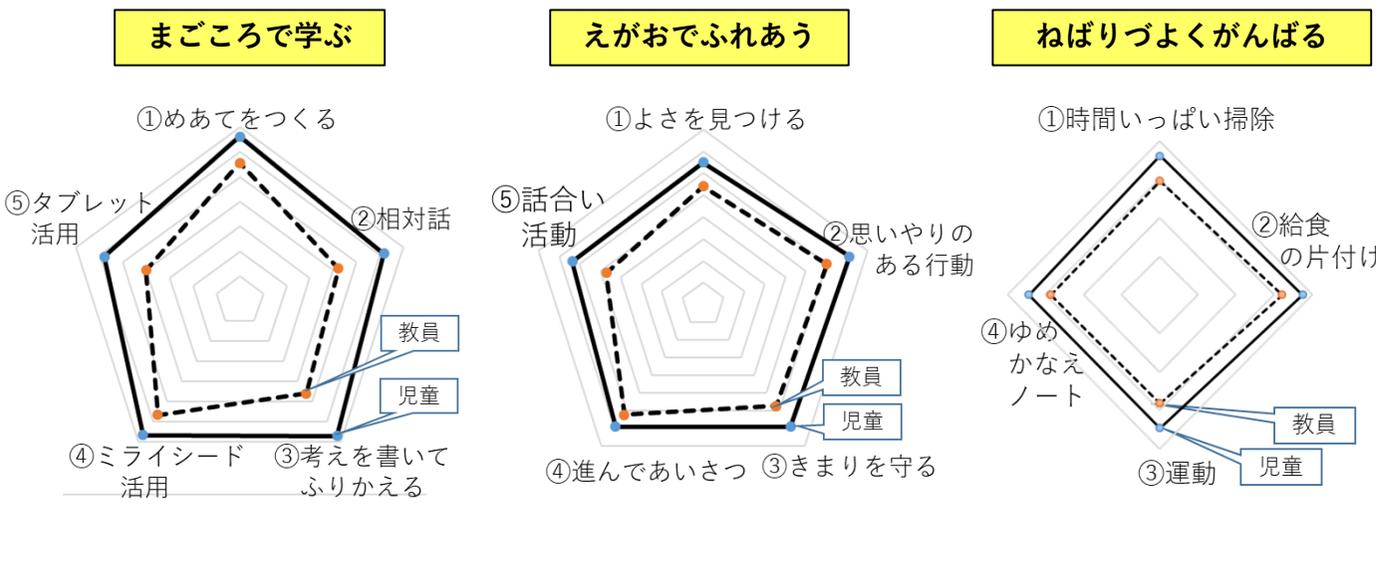


糸島市立前原小学校 令和5年度
前期学校自己評価のお知らせ
 〈ダイジェスト版〉

令和5年10月3日

これは、前期に行った「学校自己評価」結果（ダイジェスト版）です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。
※詳細な評価結果は、ホームページに公開しますので、併せて御覧ください。

①児童評価と教員評価の結果



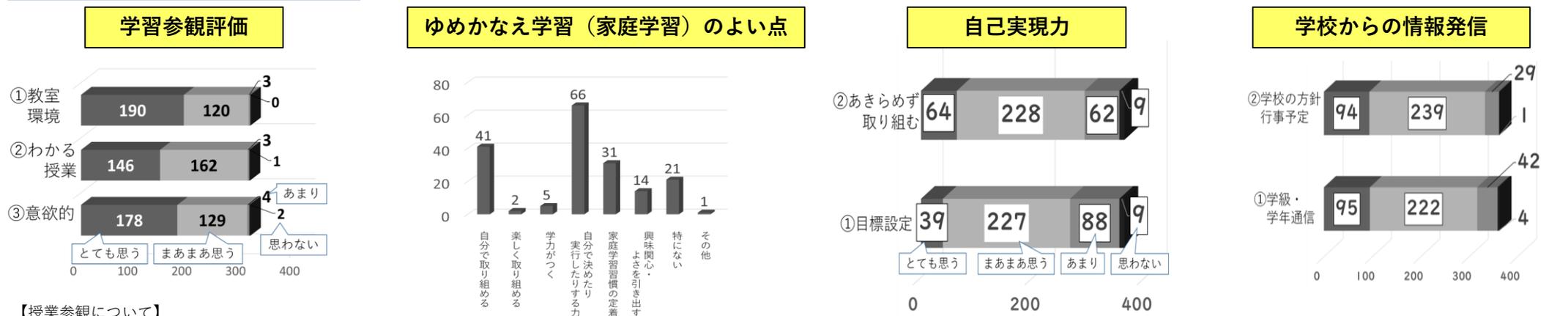
【全体】
 ・教員評価が低いです。児童にめざす姿を示す必要があります。
 ・児童と教員のグラフの形が同じことから、評価は一致していると考えます。

【まごころで学ぶ子ども】
 ・①「めあて」③「ふりかえり」の高評価は、昨年度、特に授業で力を入れて指導してきた成果と考えます。
 ・②「相対話」は評価が低いです。教員が児童に話す力を付けるための研修をすることが必要です。
 ・⑤「タブレット活用」は評価が低いです。反面、④「ミライシード活用」は高いです。ドリル的な活用と表現・交流するための活用を進め、活用する場面を増やしていきます。

【えがおでふれあう子ども】
 ・②「思いやりのある行動」は、評価が高いです。児童会活動や異学年での活動（遠足、体力テスト、掃除など）を仕組んだ成果と考えます。
 ・⑤「話し合い活動」は、評価が最も低いです。これは、個々の意見が反映する話し合い活動が十分ではなかったと考えます。

【ねばりづよくがんばる子ども】
 ・④「ゆめかなえノート」は児童の評価が低いです。ただ、昨年度末よりも評価は上がりました。目標設定の指導には課題があるので、今後改善していきます。

②保護者評価の結果



【授業参観について】
 ・概ねよい評価をいただきました。今後も、一人ひとりの児童の思考力・表現力を伸ばす授業を行っていきます。
 ・自由記述では、「授業中の教員の言葉が難しく感じた」、「児童によって理解度に差があることを感じた」という御意見をいただきました。真摯に受け止め、児童の発達段階や実態に応じた授業を行ってまいります。

【ゆめかなえ学習について】
 ・よさについての御意見の方が多くです。その多くは「自分で取り組める」「自分で決める力が身に付く」というものでした。ただ、「学力が身に付く」の項目が低いことは課題と考えます。自分の学習課題を把握させ、それを家庭学習につなげる指導をしていきます。

【自己実現力】
 ・昨年に比べて評価が高くなりました。これは、「ゆめかなえノート」を保護者の方が御覧になって、お子さんのがんばりを見てくださっているためと考えます。ただ、「毎週、目標を決めるのは負担だ」という御意見がありました。目標設定の指導の充実を図ります。

【情報発信】
 ・昨年度よりも評価はよくなりました。自由記述では、「紙媒体よりも電子でのお知らせがよい」との御意見が多くありました。今後検討したいと思います。また、白黒よりもカラーで印刷してほしいという御意見については、予算の関係がありますので、難しいです。